

日本藻類学会第 34 回大会 つくば 2010

プログラム



学会会長 堀口 健雄
大会会長 笠井 文絵

筑波大学 筑波キャンパス (〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1)
2010年3月19日(金)～22日(月)

主催：日本藻類学会 共催：筑波大学

1. 会場までの交通 (図1)

筑波大学への交通は以下の通りです。筑波大学 (http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html) 等のホームページもご参照下さい。会場の筑波大学周辺には宿泊施設がほとんどありません。そのため、つくば駅または1つ前の研究学園駅周辺のホテルにお泊まりいただくのが比較的便利です。各自でお調べいただき、手配をお願いします。

つくばエクスプレスを利用する場合

「秋葉原」から「つくば」行きに乗車し、終点「つくば」で下車します。所要時間は快速で45分、区間快速で52分、普通で57分です(運賃1,150円)。A3口から出て「つくばセンター」バスターミナル6番乗場で筑波大学循環バス(左右回りがあるが左回りの方が若干早い)または「筑波大学中央」行きに乗車し、いずれも「筑波大学中央」で下車します(運賃260円)。バスは平日で10分間隔、土日は20分間隔で運行しています。所要時間は10分~15分です。「筑波大学中央」から会場へは徒歩数分です(図1参照)。「つくばセンター」からタクシーで大学中央までは約10分、2,000円程です。

常磐線を利用する場合

「上野」から乗車し、「ひたち野うしく」、「荒川沖」または「土浦」で下車します。それぞれ駅東口、西口、西口のバス停で「筑波大学中央」または「つくばセンター」行きに乗車し、終点で下車します。所要時間は「筑波大学中央」までそれぞれ40分~50分、30分~40分、35分~40分です。「筑波大学中央」および「つくばセンター」からは前項参照。

高速バスを利用する場合

東京駅八重洲南口に高速バス乗り場があります。「筑波大学」または「つくばセンター」行きに乗車し(ほとんど「筑波大学」行き)、それぞれ終点で下車します。運賃は通常1,150円、回数券5枚綴り4,800円、1週間有効往復切符1,700円、1週間有効路線バス込み(300円区間内)往復切符1,900円、1日有効往復+JR都区内フリー切符2,000円です。所要時間は渋滞していない場合でそれぞれ約75分、65分です。成田・羽田空港から「つくばセンター」行き的高速バスもあります。「筑波大学」(=「筑波大学中央」)および「つくばセンター」からは前々項参照。

乗用車を利用する場合

常磐高速「桜土浦I.C.」で降り、筑波方面へ左折し、^{さきさき}大角豆交差点を右折、^{ひがしおおどお}県道55号線(東大通り)を北に直進、筑波大学中央入り口(T字型の石柱あり)を左折、すぐ左側の駐車場をご利用ください(図1参照)。桜土浦I.C.から約8km、20分程です。迷惑駐車とならないようご配慮願います。

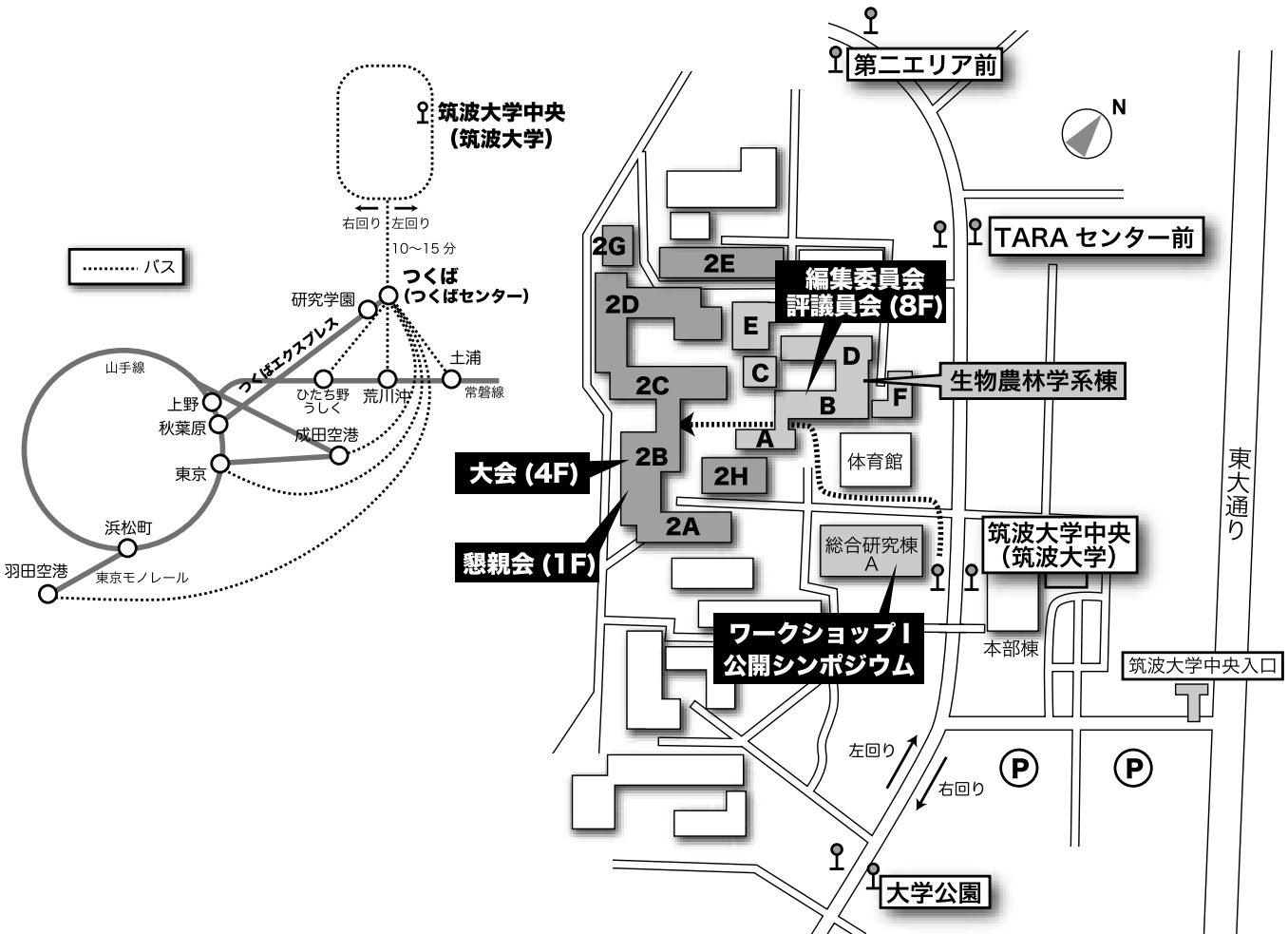


図1 大会会場までのアクセス：路線図(左)と筑波大学第2エリア周辺図(右)

2. 会場 (図1, 2)

編集委員会・評議員会：筑波大学 生物農林学系棟 B801
 大会：筑波大学 第2エリア 2A, 2B, 2C 棟4階
 総会：筑波大学 第2エリア 2B棟4階 2B411
 懇親会：筑波大学 第2エリア 2B棟1階 大食堂
 公開シンポジウム：筑波大学 総合研究棟 A110
 エクスカーション：筑波実験植物園
 藻類学ワークショップI：筑波大学 総合研究棟 A111
 藻類学ワークショップII：国立環境研究所 環境生物保存棟
 レクリエーション：筑波大学 中2テニスコート

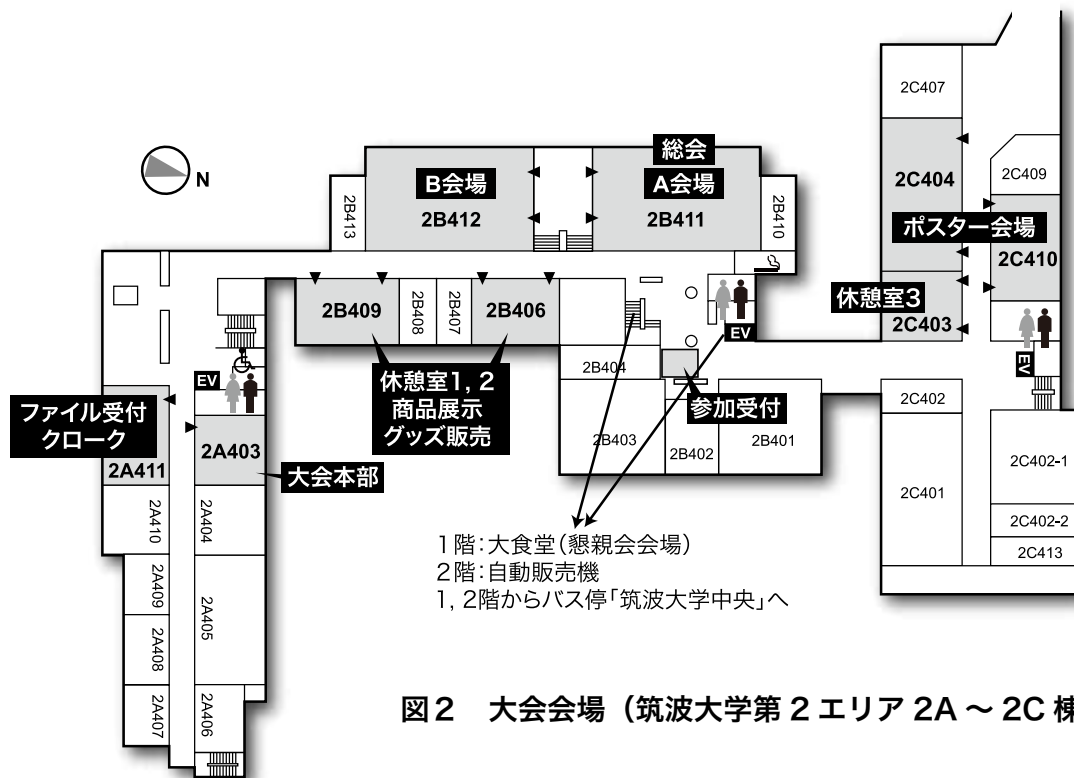


図2 大会会場 (筑波大学第2エリア 2A～2C 棟4階)

3. 日程

2010年3月19日(金)

10:00-12:30 ワークショップI
 15:00-16:30 編集委員会 (生物農林学系棟 B801)
 16:30-18:00 評議員会 (生物農林学系棟 B801)

2010年3月20日(土)

8:30- 参加・ファイル受付
 9:00-11:45 口頭発表 (A・B会場)
 12:45-15:45 口頭発表 (A・B会場)
 15:50-17:20 ポスター発表 (奇数番号)
 17:30-18:30 総会 (A会場)
 18:40-20:40 懇親会 (第2エリア大食堂)

※ 3月20日(土)は、第2エリア大食堂(会場1階)が11時30分から13時30分まで営業しています。3月21日(日)は大食堂が休業ですので、20日(土)昼頃までにお弁当の予約を受け付けます。他には、周辺のコンビニや弁当屋をご利用いただくことになります。

2010年3月21日(日)

8:30- 参加・ファイル受付
 9:00-10:15 口頭発表 (A・B会場)
 10:30-12:00 ポスター発表 (偶数番号)
 13:00-14:15 口頭発表 (A・B会場)
 15:00-17:00 公開シンポジウム
 (14:20) 15:00-17:30 エクスカーション
 ワークショップII 14:30までに参加受付に集合

2010年3月22日(月)

10:00-17:00 ワークショップII

4. 参加受付

大会会場4階ロビーにて参加受付を行います(図2参照)。当日参加も受け付けます。大学3年生以下の方は大会参加費無料ですので、学生証を提示してください。

大会参加費 6,000円(学生4,000円)
 懇親会費 6,000円(学生4,000円)

5. クローク

大会会場 4 階 2A411 にて荷物をお預かりします (図 2 参照)。

3 月 20 日 (土) 8:30 – 18:40

3 月 21 日 (日) 8:30 – 15:00

6. 編集委員会および評議員会

編集委員会：3 月 19 日 (金) 15:00 – 16:30

評議員会： 同 16:30 – 18:00

会場：筑波大学 生物農林学系棟 8 階 B801 (図 1 参照)

連絡先 TEL：029-853-6656 (宮村)

7. 発表形式

(1) 口頭発表

- ・一つの発表につき発表 12 分、質疑応答 3 分です (1 鈴 10 分、2 鈴 12 分、終鈴 15 分)。
- ・発表はデジタルプロジェクターとします。デジタルプロジェクターをご利用の際のソフトウェアは Microsoft PowerPoint をご使用下さい。
- ・本大会で使用する OS および PowerPoint のバージョンは以下の通りです。
Windows の方：Windows Vista Office2007
Macintosh の方：MacOSX Office2008
- ・フォントは標準的なものをご使用下さい。特殊なフォントをご使用になる際は、文字を画像に変換して下さい。

PowerPoint ファイルの受付

発表者は以下の時間までにデータをファイル受付 (2A411；図 2 参照) にご持参下さい。データ受け渡しメディアは USB メモリか CD-R とします。その他 (フロッピー・MO・ZIP 等) のメディアはお受けできません。上記メディアでの受け渡しができない方は発表前日までにご相談下さい。ファイル名は半角英数字でご自身の講演記号と番号にして下さい (例：A07.ppt)。

ファイル受付時間 (以下の時間までにファイル受付にデータの提出をお願いします)

3 月 20 日午前 (前半) に発表の方 (A, B01 ~ 05)：20 日 8:45 まで

3 月 20 日午前 (後半) に発表の方 (A, B06 ~ 10)：20 日 10:00 まで

3 月 20 日午後発表の方 (A, B11 ~ 21)：20 日 12:00 まで

3 月 21 日午前発表の方 (A, B22 ~ 26)：21 日 8:45 まで

3 月 21 日午後発表の方 (A, B27 ~ 31)：21 日 12:00 まで

(3 月 21 日に発表の方は、なるべく 20 日中にデータを提出してください)

※ PowerPoint データは受付にて発表会場のパソコンのハードディスクにコピーします。お預かりしたデータは大会終了後に通常の方法で消去しますが、問題のある方は実行委員会にご相談下さい。

(2) ポスター発表 (図 3)

- ・ポスターは、縦 150 cm、横 120 cm 以下の大ききで作成して下さい。貼り付け用のピンまたはテープは大会実行委員会で準備します。
- ・ポスターの上部に、発表番号、表題、氏名 (所属) を明記して下さい。
- ・目的、実験結果、考察、結論についてそれぞれ簡潔にまとめた文章をつけて下さい。また、写真や図表には簡単な説明文を添付して下さい。
- ・文字や図表の大ききは、少し離れた場所からでも判読できるようにご配慮下さい。
- ・3 月 20 日 (土) 12:00 頃までに所定の場所に掲示し、21 日 (日) 15:00 頃までに撤収して下さい。

8. 公開シンポジウム

世話人：渡邊 信 (筑波大学)

本大会の公開シンポジウムとして「未来を拓く藻類エネルギー」を開催します。詳細は p.66 をご覧ください。

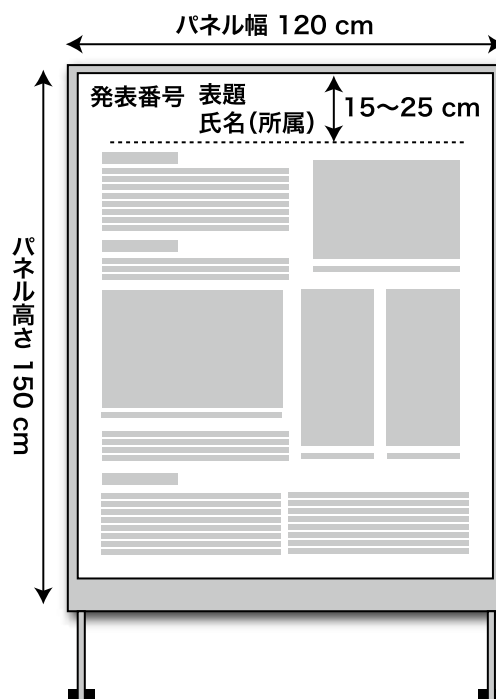


図 3 ポスター説明図

日時：3月21日（日）15:00 – 17:00
 会場：筑波大学 総合研究棟 A110 (図1 参照)

9. 藻類学ワークショップ

全体世話人：河地 正伸（国立環境研）

問い合わせ先：E-mail: jsp_workshop@nies.go.jp Phone: 029-850-2345

ワークショップⅠ「藻類 30 億年の自然史」

内容：講義形式のワークショップです。藻類からみる生物進化，地球，環境について講義して頂きます。

日時：3月19日（金）10:00 – 12:30

会場：筑波大学 総合研究棟 A111 (図1 参照)

講師：井上 勲（筑波大学）

参加費：500 円（テキスト代込み，徴収は当日）

ワークショップⅡ「藻類色素の HPLC 分析入門」

内容：藻類の色素の多様性，分類，応用利用等について，そして色素分析の実際について講義して頂いた後，環境試料や国立環境研究所の様々な藻類保存株の色素分析を実習形式で行って頂きます。

日時：3月21日（日）14:30 – 22日（月）（14:30 までに大会参加受付に集合）

会場：国立環境研究所 環境生物保存棟

講師：宮下 英明（京都大学）

参加費：2,000 円（テキスト代と実習費用込み，徴収は当日）

10. エクスカーション

世話人：北山 太樹（国立科学博物館）

本大会のエクスカーションとして「昭和天皇の生物標本コレクション」を開催します。生物学者としても世界的に著名であった昭和天皇の生物標本コレクションを所蔵する国立科学博物館昭和記念筑波研究資料館（筑波実験植物園内）を見学します。昭和天皇は，ヒドロ虫類など海産無脊椎動物をご専門とされましたが，相模湾では海藻類もご採集になられ，北海道帝國大學の山田幸男教授（本学会初代会長）らがそれをもとに十数種の新種を記載しています。また，植物園の温室や植物研究部の藻類標本室（TNS，同園内）の見学も予定しています。

日時：3月21日（日）15:00 – 17:30

集合：筑波実験植物園正門・教育棟（15:00）

解散：現地（植物研究部棟）

定員：30名

参加費：無料

申込み：定員に空きがある場合，大会会場で受け付けます。ただし，雨天の場合は募集しません（1/12 以前に申込みの方のみで実行）。

備考：集合場所は筑波大学の大会会場にも用意します（14:20 頃出発，植物園まで徒歩で移動。雨天の場合は車を使用）。詳細は大会会場に案内を掲示します。

11. レクリエーション

日時：3月19日（金）10:00 – 16:00

場所：筑波大学 中2 テニスコート（バス停「第3エリア前」下車，西へ約150m，プラズマセンター裏）

12. 特別企画

休憩室1で「(有) 浜野顕微鏡コレクション特別展示」を開催いたします。

13. 日本藻類学会第34回大会実行委員会

笠井 文絵，河地 正伸（国立環境研究所）

北山 太樹，大村 嘉人（国立科学博物館）

渡邊 信，井上 勲，白岩 善博，宮村 新一，鈴木 石根，石田 健一郎，岩本 浩二，横山 亜紀子，中山 剛（筑波大学）

14. 問い合わせ先

〒305-8572

茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学生命環境科学研究科内

<日本藻類学会第34回大会実行委員会>

TEL：029-853-6656 FAX：029-853-6614

E-mail: algae2010.tsukuba@gmail.com（極力 e-mail でご連絡下さい）

日本藻類学会第 34 回大会講演プログラム

3月20日(土) 午前の部

A 会場 (2B411)

B 会場 (2B412)

9:00	A01	スベリコガネモ (<i>Olisthodiscus</i>) の系統的位置について: ラフィド藻綱からペラゴ藻綱へ ○中山 剛 ¹ ・山口 晴代 ¹ ・甲斐 厚 ² ・井上 勲 ¹ (筑波大・院・生命環境, ² 神戸大・理)	B01	環境変動が褐藻アントクメ (コンブ科) のフェノロジーに与える影響 ○寺田 竜太 ¹ ・齊野 尚子 ¹ ・兒玉 昂幸 ¹ ・Gregory N. Nishihara ² (鹿大・水, ² 長大・環東シナ海環境セ)
9:15	A02	無殻渦鞭毛藻 <i>Cochlodinium polykrikoides</i> の微細構造 ○岩滝 光儀 ¹ ・Gert Hansen ² ・Øjvind Moestrup ² (山形大・理・生物, ² コペンハーゲン大)	B02	褐藻ノコギリモクとクロメの光合成-温度関係 ○村瀬 昇 ¹ ・吉田 吾郎 ² ・樽谷 賢治 ² ・橋本 俊也 ³ (水産大・理, ² 水研セ瀬戸内水研, ³ 長大・院・生物圏)
9:30	A03	タイドプール性渦鞭毛藻 2 種の分類学的再検討 ○高 睿瑞 ¹ ・堀口 健雄 (北大・院理・自然史)	B03	光質が異なる LED 照射によるアカモクの光合成と生長 ○高田 順司 ¹ ・村瀬 昇 ¹ ・野田 幹雄 ¹ ・須田 有輔 ¹ ・上野 俊士郎 (水産大・理)
9:45	A04	<i>Periarachnium myxobrachium</i> (放散虫) に共生する <i>Scrippsiella trochoidea</i> (渦鞭毛藻) 大金 薫 ¹ ・鈴木 紀毅 ² ・相田 吉昭 ³ ・平山 裕美子 ¹ ・加藤 摩利子 ³ ・大塚 攻 ⁴ ・郷 秋雄 ⁵ ・中口 和光 ⁵ ・山口 修平 ⁵ ・高橋 卓 ⁴ ・辻 彰洋 ¹ (科博・植物, ² 東北大・院・理, ³ 宇都宮大・農, ⁴ 広島大・院・生物圏科学, ⁵ 広島大・生産)	B04	異なる塩濃度環境に生育するシオグサ属藻類の生理特性の比較 ○早川 雄一郎 ¹ ・吉川 伸哉 ¹ ・大城 香 ¹ ・神谷 充伸 (福井県立大・海洋生物資源)
10:00	A05	クロロフィル <i>a, b</i> を持つ緑色渦鞭毛藻類 <i>Lepidodinium chlorophorum</i> の葉緑体起源探索: 11 葉緑体遺伝子配列データに基づく解析 ○松本 拓也 ¹ ・篠崎 文彦 ² ・千國 友子 ¹ ・矢吹 彬憲 ¹ ・瀧下 清貴 ³ ・河地 正伸 ⁴ ・中山 剛 ¹ ・橋本 哲男 ^{1,5} ・稲垣 祐司 ^{1,5} (筑波大・院・生命環境, ² 筑波大・生物学類, ³ 海洋研究開発機構, ⁴ 国環研, ⁵ 筑波大・院・計算科学)	B05	コアマモ種子発芽におよぼす水温の影響 ○森田 晃央 ¹ ・国分 秀樹 ² ・宮松 亜美 ³ ・藤井 瑞穂 ³ ・倉島 彰 ⁴ ・前川 行幸 ⁴ (三重大・社会連携研究センター, ² 三重県・水産研究所, ³ 三重大・生物資源, ⁴ 三重大・院・生物資源)
10:15	休憩			
10:30	A06	地中海産クロララクニオン藻の多様性 ○大田 修平 ¹ ・Maon Viprey ¹ ・Daniel Vaultot (仏ロスコフ研)	B06	松江市近郊のため池における車軸藻類の分布及び季節的消長 ○曾田 茉莉香 ¹ ・大谷 修司 (島根大・教育)
10:45	A07	クロララクニオン藻 P314 株における巨大多核細胞の分裂過程の解明 ○工藤 敦子 ¹ ・石田 健一郎 ² (筑波大・生物学類, ² 筑波大・院・生命環境)	B07	富士北麓, 山中湖における水中の光環境と水草類・フジマリモの分布下限水深 ○芹澤 (松山) 和世 ¹ ・安田 泰輔 ¹ ・中野 隆志 ¹ ・芹澤 如比古 ² (山梨県環境研, ² 山梨大・教育)
11:00	A08	アオコ形成ラン藻 <i>Microcystis aeruginosa</i> における霞ヶ浦水系固有系統群の発見 ○田辺 雄彦 ¹ ・渡邊 信 (筑波大・院・生命環境)	B08	特別天然記念物「阿寒湖のマリモ」の保全対策-その現状と課題 ○若菜 勇 ¹ ・中村 圭吾 ² ・中嶋 信美 ³ ・山田 浩之 ⁴ ・本間 暁 ⁵ ・田才 雅彦 ⁶ ・長田 啓 ⁷ (釧路市教委・マリモ研, ² 国交省・砂防計画課, ³ 国環研・生物圏環境, ⁴ 北大・農学研究院, ⁵ 文化庁・記念物課, ⁶ 道教育庁・文化・スポーツ課, ⁷ 環境省・自然環境計画課)
11:15	A09	霞ヶ浦に発生したアオコの微生物群集構造解析 ○西澤 智康 ¹ ・二渡 弘貴 ¹ ・朝山 宗彦 ¹ ・原田 健一 ² ・白井 誠 ¹ (茨城大・農, ² 名城大・薬)	B09	山形県小波渡漁港における海藻植生の季節変化と流動環境 ○平野 央 ¹ ・粕谷 和寿 ¹ ・櫻井 克聡 ² ・藤田 大介 ² (山形県水産試験場, ² 東京海洋大学・応用藻類)
11:30	A10	沿岸環境サンプル中におけるラビリンチュラ類の構成属調査法の検討 ○上田 真由美 ¹ ・本多 大輔 ² (甲南大・院・自然科学, ² 甲南大・理工)	B10	Maximum algal richness is correlated to the characteristics of breaking waves ○NISHIHARA, Gregory N. ¹ ・TERADA, Ryuta ² (長崎大学, ² 鹿児島大学)

3月20日(土) 午後の部

A会場(2B411)

B会場(2B412)

12:45	A11	渦鞭毛藻感染性ウイルス HcDNAV と既知ウイルス群との系統学的比較 ○長崎 慶三 ¹ ・豊田 健介 ¹ ・中山 奈津子 ¹ ・外丸 裕司 ¹ ・白井 葉子 ² ・Jean-Michel Claverie ³ ・緒方 博之 ³ (1 瀬戸内水研, 2 前瀬戸内水研, 3 仏 CNRS)	B11	コンクリートブロック礁上における海藻植生の経年変化について ○村岡 大祐 ¹ ・坂見 知子 ¹ ・奥村 裕 ¹ ・玉置 仁 ² (1 水研セ東北水研, 2 石巻専修大)
13:00	A12	褐藻アミグサ目ハイオオギ属の分類学的再検討 ○孫 忠民 ¹ ・羽生田 岳昭 ¹ ・田中 次郎 ² ・川井 浩史 ¹ (1 神戸大・内海域セ, 2 東京海洋大)	B12	人工基盤上カジメ群落の長期モニタリング ○青木 優和・土屋 泰孝・佐藤 壽彦・品川 秀夫 (筑波大・下田臨海)
13:15	A13	褐藻ムチモ類、特にヒラムチモ (<i>Cutleria multifida</i>) の分子系統学的解析と系統地理 ○川井 浩史 ¹ ・小岸 圭太 ¹ ・羽生田 岳昭 ¹ ・新井 章吾 ² ・北山 太樹 ³ ・Wendy Nelson ⁴ ・Alexandre Meinesz ⁵ ・Kostas Tsiamis ⁶ ・Akira F. Peters ⁷ (1 神戸大・内海域セ, 2 (株) 海藻研, 3 国立科博, 4 NIWA, NZ, 5 Univ. Nice, France, 6 Univ. Athens, Greece, 7 Bezhin Rosco, France)	B13	九州産ホンダワラ類幼体の付着器からの再生能と埋没耐性の比較 ○吉田 吾郎 ¹ ・島袋 寛盛 ¹ ・荒武 久道 ² ・秋本 恒基 ³ ・中島 泰 ⁴ ・八谷 光介 ⁵ ・吉村 拓 ⁵ (1 瀬戸内水研, 2 宮崎水試, 3 福岡水試, 4 オフィス MOBA, 5 西水研)
13:30	A14	沖縄県波名城に生育するアオサ藻綱カサノリの季節消長 松川 愛未 ¹ ・堤 敏郎 ² ・香村 眞徳 ³ ・石川 依久子 ⁴ ・平中 晴朗 ⁵ ・田端 重夫 ⁵ ・○嶋田 智 ¹ (1 お茶大, 2 那覇港管理組合, 3 沖縄環境科学センター, 4 理研, 5 いであ (株))	B14	鹿児島県沿岸磯焼け域での藻場形成とホンダワラ類の耐砂性 ○川俣 茂 ¹ ・吉満 敏 ² ・猪狩 忠光 ² ・徳永 成光 ² ・田中 敏博 ³ (1 水総研セ水工研, 2 鹿児島水試, 3 鹿児島県水産振興課)
13:45	A15	洞窟の照明下で生育する気生緑藻類 ○半田 信司 ¹ ・大村 嘉人 ² ・川村 宗弘 ³ ・吉村 和正 ³ ・阿野 裕司 ³ (1 広島県環境保健協会, 2 科博・植物, 3 山口産技セ)	B15	宮崎県串間市沿岸における藻場と磯焼けの維持機構 ○荒武 久道 ¹ ・佐 島圭一郎 ¹ ・渡辺 耕平 ² ・吉田 吾郎 ³ (1 宮崎水試, 2 西日本オーシャンリサーチ, 3 瀬戸内海水研)
14:00	A16	捕食性原生動物を用いたミドリゾウリムシ共生藻および自由生活藻の細胞内消化耐性の検討 ○早川 昌志 ¹ ・芝野 郁美 ¹ ・洲崎 敏伸 ² (1 神戸大・理・生物, 2 神戸大・院理・生物)	B16	日本新産種 <i>Sargassum denticarpum</i> (褐藻綱・ヒバマタ目) の形態と分布 ○島袋 寛盛・川根 昌子・浜口 昌巳 (瀬戸内水研)
14:15		休憩		
14:30	A17	<i>Chloromonas augustae</i> , <i>C.serbinowii</i> および <i>Gloeomonas</i> -clade 5 種 (オオヒゲマワリ目, 緑藻綱) の鞭毛装置構造の進化 ○渡邊 信 ¹ ・野崎 久義 ² ・仲田 崇志 ³ (1 富山大・院理工, 2 東京大・院理, 3 慶大・先端生命研)	B17	高知県黒潮町地先におけるウニ類除去による藻場の再生とその有効期間 ○田井野 清也 ¹ ・林 芳弘 ¹ ・石川 徹 ¹ ・尾崎 憲二 ² (1 高知水試, 2 黒潮町役場)
14:45	A18	単細胞性緑藻 <i>Chloromonas pseudoplatyrhyncha</i> のピレノイド構造と系統上の位置 ○松崎 令 ¹ ・仲田 崇志 ² ・原 慶明 ³ ・野崎 久義 ¹ (1 東京大・院理・生物科学, 2 慶大・先端生命研, 3 山形大・理・生物)	B18	魚類の食害防除によるホンダワラ類の生長生残の変化 ○八谷 光介・清本 節夫・吉村 拓 (西水研)
15:00	A19	コナミドリムシ (<i>Chlamydomonas reinhardtii</i>) および近縁藻類の分類学的研究 ○仲田 崇志・新川 はるか・伊藤 卓朗・富田 勝 (慶大・先端生命研)	B19	鉄と腐植物質 (フミン酸・フルボ酸) が赤潮藻類の増殖に及ぼす影響 ○福崎 康司 ¹ ・内藤 佳奈子 ² ・澤山 茂樹 ¹ ・今井 一郎 ³ (1 京大・院・農, 2 県大・生命環境, 3 北大・院・水)
15:15	A20	緑藻 <i>Volvox</i> 属 <i>Merrillosphaera</i> 節の 1 新種 ○野崎 久義 ¹ ・A. W. Coleman ² (1 東京大・理・生物, 2 ブラウン大学)	B20	淡水緑藻 <i>Botryococcus braunii</i> における ¹³ C グルコースを用いたトリテルペノイド合成経路の検討 ○石松 純 ¹ ・松浦 裕志 ¹ ・平川 泰久 ¹ ・佐野 友春 ² ・彼谷 邦光 ¹ ・渡邊 信 ¹ (1 筑波大学, 2 国立環境研究所)
15:30	A21	接合藻ヒメミカヅキモのホモタリック株における「性」の発見 ○土金 勇樹 ¹ ・土屋 美紀 ¹ ・日向 淑恵 ¹ ・関本 弘之 ² (1 日本女子大・理・物生, 2 日本女子大・院・理)	B21	緑藻 <i>Botryococcus braunii</i> の炭化水素生産能の向上に関する最適化条件の検討 ○菊田 芙美江・坂本 幸平・馬場 将人・鈴木 石根・渡邊 信・白岩 善博 (筑波大・院・生命環境)

ポスター会場 (2C404, 2C410)

15:50 – 17:20 ポスター集中討議 (奇数番号)

ポスター会場 1 (2C404)

- P01** 日本産 *Leptofaucha* 属植物の分類
○鈴木 雅大¹・橋本 哲男²・寺田 竜太³・林 綉美⁴・吉崎 誠¹ (1東邦大・理, 2筑波大・院・生命環境, 3鹿大・水産, 4台湾海洋大)
- P03** 褐藻マツモ属 (*Analipus*) の分子系統学的解析
○石川 彰造¹・阿部 剛史²・川井 浩史³・小亀 一弘¹ (1北大・院理・自然史, 2北大・総合博物館, 3神戸大・内海域センター)
- P05** 小笠原のアントクメ (褐藻綱) について
北山 太樹 (国立科博)
- P07** 日本産シャジクモ科藻類の多様性情報データベース構築に向けて
○坂山 英俊¹・伊藤 元己² (1神戸大・院・理・生物, 2東京大・院・総合文化・広域システム)
- P09** Morphological and phylogenetic studies on a hot spring cyanobacterium, *Mastigocladus laminosus*
○Khin Myat Soe¹・Yoshiaki Hara²・Jun Yokoyama² (1山形大・院・地球共生圏科学, 2山形大・理・生物)
- P11** *Chlorococcum* 属およびその近縁属 (緑藻綱) の系統
○渡邊 健司・船坂 友子・高梨 雅史・渡邊 信 (富山大院・理工・生物)
- P13** クリプト藻 *Chroomonas* 属藻類のピレノイドへのチラコイド陥入様式
○山口 晴代・中山 剛・井上 勲 (筑波大・院・生命環境)
- P15** 水面浮揚性黄緑色藻の一培養株の分類学的位置と浮揚様式
○平 美砂歌・野水 美奈・中山 剛・井上 勲・石田 健一郎 (筑波大・院・生命環境)
- P17** 不等毛藻 *Aurearena* における好オスミウム小胞の局在と細胞質分裂
○甲斐 厚・川井 浩史 (神戸大・内海域)
- P19** 黒潮及び対馬暖流域の *Neoceratium* 属渦鞭毛藻類の出現種とその分子系統学的研究
○高野 義人¹・岩滝 光儀²・堀口 健雄³・松岡 数充¹ (1長崎大・環東シナ海洋セ, 2山形大・理, 3北海道大・院・理)
- P21** 沖縄県沿岸のピコ真核植物プランクトンについて
○新垣 陽子¹・穴原 知英¹・加藤 亜記²・須田 彰一郎¹ (1琉大・理・海洋自然, 2琉大・熱生研)
- P23** 貝類寄生藻パーキンサスへの遺伝子導入に用いる薬剤選択系の開発
○松崎 素道¹・野崎 久義²・北 潔¹ (1東大・院・医・生物医化学, 2東大・院・理・生物科学)
- P25** ラン藻 *Synechocystis* sp. PCC 6803 のヒスチジンキナーゼ SphS と SphU の相互作用解析
○木村 聡・白岩 善博・鈴木 石根 (筑波大・院・生命環境)
- P27** 二分裂型トレボキシア藻の細胞壁合成と娘細胞接着による糸状化
○山本 真紀¹・半田 信司²・宮村 新一³・南雲 保⁴・河野 重行⁵ (1専修大・自然科学研, 2(財)広島県環境保健協会, 3筑波大・生命環境, 4日本歯科大・生物, 5東大・院・新領域・先端生命)
- P29** 日本全国のダム湖における植物プランクトンの網羅的調査
○新山 優子¹・辻 彰洋¹・一柳 英隆²・高村 典子³ (1国立科学博物館・植物, 2ダム水源地環境整備センター, 3国立環境研究所)
- P31** 松江市近郊の不耕起水田と耕起水田における淡水藻類相の比較研究
○長谷川 孝太¹・大谷 修司² (1島根大・院・教育, 2島根大・教育)
- P33** 炭化水素産生緑藻ボトリオコッカスの自然界における季節的消長の消長
○黛 裕介¹・高橋 春瑠香¹・河地 正伸²・出村 幹英²・白岩 善博¹・井上 勲¹・田辺 雄彦¹・彼谷 邦光¹・渡邊 信¹ (1筑波大・院・生命環境, 2国環研)

ポスター会場 2 (2C410)

- P35** 環境省モニタリングサイト 1000 沿岸域調査における藻場のモニタリングと展望
○寺田 竜太¹・川井 浩史²・田中 次郎³・坂西 芳彦⁴・倉島 彰⁵・村瀬 昇⁶・吉田 吾郎⁷・中川 雅博⁸・熊谷 直喜⁸・島袋 寛盛⁹・藤田 道男¹⁰・脇山 成二¹⁰・水落 朋子¹⁰ (1鹿大水, 2神戸大内海域セ, 3海洋大海洋科学, 4北水研, 5三重大院生資, 6水大校, 7瀬戸水研, 8国際湿地保全連合, 9国際湿地保全連合 (現:瀬戸水研), 10環境省生物多様性セ)
- P37** 和歌山県白浜町臨海海岸における打ち上げ海藻類の季節変化
○木寅 佑一朗¹・澤山 茂樹²・鯉坂 哲朗² (1京大・農, 2京大・院・農)
- P39** 表面形状の異なるカキ殻ブロックにおける海藻植生の遷移
○細矢 玲奈¹・鈴木 平吉¹・伊豫田 紀子²・藤田 大介¹ (1東京海洋大学・応用藻類, 2五洋建設 (株))
- P41** 室内培養における紅藻フサノリの最適培養条件
藤田 大介・藤原 一恵 (東京海洋大学・応用藻類)
- P43** 千葉県沖の島産紅藻ミリンの黄化と栄養塩添加による体色改善
藤田 大介・小林 美樹 (東京海洋大・応用藻類)
- P45** 神奈川県江ノ島 (基準産地) におけるコトジツノマタの季節的消長と剪定個体の生長
○鈴木 平吉・細矢 玲奈・前田 高志・能登谷 正浩・藤田 大介 (東京海洋大学・応用藻類)
- P47** クロメの生育に及ぼす温度, 光量, 塩分の影響
○馬場 将輔 ((財) 海洋生物環境研究所)
- P49** 海藻類 CDM 実証のための模擬事業場における海藻栽培
○申 宗岩¹・徐 台昊¹・朴 光錫²・朴 憲宇²・玉 政玟³・鄭 翼教⁴ (1全南大・海洋技術學部, 2浦項産業科學研究院, 3釜山大・海洋研究所, 4釜山大・地球環境システム學部)
- P51** 磯焼け海域に移植したツルアラメの生育
○林 裕一¹・能登谷 正浩² (1岡部株式会社, 2東京海洋大・応用藻類)

- P53** 褐藻ネジモクの分布
 ○岩尾 豊紀¹・倉島 彰¹・奥田 まき²・斎藤 洋一³・田中 次郎⁴・青木 優和⁵・前川 行幸¹ (¹三重大院・生物資源, ²三重県学生会郡, ³鳥羽市水研, ⁴海洋大・藻類, ⁵筑波大・下田臨海実験セ)
- P55** 高知県沿岸に生育する南方系ホンダワラ類の季節消長と温度に対する生育特性
 ○原口 展子¹・平岡 雅規²・村瀬 昇³・井本 善次²・奥田 一雄¹ (¹高知大・院・黒潮圏, ²高知大・総合セ・海洋生物, ³水産大学校)
- P57** 鹿児島県桜島におけるホンダワラ属4種の季節変化と生長特性
 ○土屋 勇太郎¹・Gregory N. Nishihara²・寺田 竜太¹ (¹鹿大・水, ²長崎大・環東シナ海セ)
- P59** ホンダワラ類の衰退期における植食性魚類ノトイズミの胃内容物の変化
 ○八谷 光介・清本 節夫・吉村 拓 (西水研)
- P61** 中国青島産グリーンタイド *Ulva* sp. とアジアオノリ *U. prolifera* の培養下における分枝頻度の比較
 ○平岡 雅規¹・岩崎 大地¹・朱文栄²・馬 家海³ (¹高知大・総合セ・海洋施設, ²象山旭文海藻開発, ³上海海洋大)
- P63** 移植したリュウキュウスガモ (*Thalassia hemprichii*) の地下茎の伸長について
 ○野中 圭介¹・久保田 康裕² (¹沖縄環境調査 (株), ²海洋プランニング (株))

A会場 (2B411)

17:30 – 18:30 総会

第2エリア 2B棟 1階 大食堂

18:40 – 20:40 懇親会

3月21日 (日) 午前の部

A会場 (2B411)

B会場 (2B412)

9:00	A22 微細藻の鞭毛挙動をみる ○石川 依久子・宮脇 敦史 (理研・細胞機能探索技術開発チーム)	B22 ジベレリンによる褐藻ワカメ・カジメ配偶体の成熟促進 ○倉島 彰・前川 行幸 (三重大院・生物資源)
9:15	A23 クリプト藻 <i>Pyrenomonas helgolandii</i> の外部刺激に対する鞭毛反応について ○山岸 隆博・川井 浩史 (神戸大・内海域セ)	B23 高浸透圧処理による緑藻ハネモの配偶子放出誘導 ○峯 一朗 ¹ ・尾崎 知栄 ² ・奥田 一雄 ¹ (¹ 高知大・院・黒潮圏, ² 高知大・理・生物科学)
9:30	A24 電子線トモグラフィ法を用いた褐藻エゾイシゲの細胞質分裂における膜構造変化の解析 ○長里 千香子 ¹ ・梶村 直子 ² ・植木 知佳 ³ ・峰雪 芳宣 ⁴ ・本村 泰三 ¹ (¹ 北大・北方セ, ² 大阪大・超高压電顕セ, ³ 新日鐵・先端研, ⁴ 兵庫県大・院・生命理学)	B24 ヒラアオノリの成熟制御機構に関する研究 ○田中 未来・桑野 和可 (長崎大・院・生産科学)
9:45	A25 褐藻アミジグサにおける細胞質分裂時に形成される plasmodesmata の微細構造解析 ○寺内 真 ¹ ・梶村 直子 ² ・長里 千香子 ³ ・Christos Katsaros ⁴ ・峰雪 芳宣 ⁵ ・本村 泰三 ³ (¹ 北海道大・院・環境科学, ² 大阪大・超高压電顕セ, ³ 北海道大・北方セ, ⁴ アテネ大・生物, ⁵ 兵庫県大・院・生命理学)	B25 ヒラアオノリで見られるオルガネラ遺伝の多様性, 母性遺伝, 父性遺伝, 両性遺伝 ○今泉 慧子 ¹ ・茂木 祐子 ¹ ・畠山 陽子 ¹ ・宮村 新一 ² ・桑野 和可 ³ ・河野 重行 ¹ (¹ 東大・院・新領域・先端生命, ² 筑波大・院・生命環境, ³ 長崎大・院・生産科学)
10:00	A26 有殻アメーバ <i>Paulinella chromatophora</i> における新規殻の構築様式 ○野村 真未 ¹ ・中山 卓郎 ² ・石田 健一郎 ² (¹ 筑波大・生物学類, ² 筑波大・院・生命環境)	B26 ヒラアオノリで見られる接合初期のオルガネラ排除と葉状体発達過程のオルガネラ選択 ○佐藤 康太 ¹ ・茂木 祐子 ¹ ・宮村 新一 ² ・桑野 和可 ³ ・河野 重行 ¹ (¹ 東大・院・新領域・先端生命, ² 筑波大・院・生命環境, ³ 長崎大・院・生産科学)

ポスター会場 (2C404, 2C410)

10:30 – 12:00 ポスター集中討議 (偶数番号)

ポスター会場 1 (2C404)

- P02** Observations on the marine red algal Family Gracilariaceae around Hakata Bay, northern Kyushu, Japan
 ○Narongrit Muangmai¹・Yukimasa Yamagishi²・Ryuta Terada³・Shigeo Kawaguchi¹ (¹九大・農, ²福山大・生命工, ³鹿大・水)
- P04** 褐藻カヤモノリ目フクロノリ属の一種の形態と分類
 ○岡元 悠太・田中 次郎 (東京海洋大・院・藻類)
- P06** 北関東沿岸における褐藻ワカメ集団の遺伝的分化の解析
 ○江村 望¹・森田 晃央²・倉島 彰²・上井 進也³ (¹新潟大・院・自然科学, ²三重大, ³新潟大・理)

- P08** 日本におけるヒメフラスコモ類 *Nitella flexilis* complex (Charales, Charophyceae) の遺伝的多様性と分類に関する研究
○西山 未理¹・坂山 英俊²・渡邊 信¹ (筑波大・院・生命環境, ²神戸大・院・理)
- P10** 地衣植物 *Cladonia* の photobiont に関する研究
○平田 悦也・中野 武登 (広工大・院・環境学)
- P12** 氷雪藻 *Ancylonema nordenskiöldii* に近縁な日本新産 *Heterothrichopsis viridis* の形態と系統および分類学的な扱いについて
○安富 友貴¹・半田 信司²・中原一坪田 美保³・向井誠二³・坪田博美³ (広島大・院・理・生物科学, ²広島県環境保健協会, ³広島大・院・理・宮島自然植物実験所)
- P14** PCR-RFLP 法による海産浮遊性珪藻 *Chaetoceros Ehrenberg* の種識別
○豊田 健介・外丸 裕司・長崎 慶三 (水産総合セ・瀬戸内水研)
- P16** 淡水産黄緑藻 *Pseudostaurastrum enorme* (Ralfs) Chodat の分類学的検討
○須谷 昌之¹・大谷 修司² (島根県立出雲商業高校, ²島根大・教育・生物)
- P18** 土壌性の *Paraphysomonas* 属 (黄金色藻綱) と渦鞭毛藻類の分類学的研究
○花房 友香里¹・高野 義人²・堀口 健雄¹ (北大・院理・自然史, ²長崎大・環東シナ海洋セ)
- P20** 沖縄島沿岸から分離された *Gambierdiscus* 属種について
Shah, Md. Mahfuzur Rahman¹・加藤 亜記²・須田 彰一郎³ (琉大・理工学研究科, ²琉大・熱生研, ³琉大・理・海洋自然)
- P22** 有殻アメーバ *Paulinella chromatophora* において発見された核コード¹有染色体遺伝子
○中山 卓郎・石田 健一郎 (筑波大・院・生命環境)
- P24** 淡水産アオノリ *Ulva limnetica* を用いた淡水誘導性遺伝子の単離と発現解析
○市原 健介¹・嶋田 智² (北大・理学院, ²お茶大・人間文化)
- P26** 海藻由来酸性多糖類の化学修飾による構造と抗酸化作用の変化
○中田 礼子・吉江 由美子 (海洋大)
- P28** コンプおよびワカメのレーザー分光法を用いた細胞周期の解析
○荻田 信二郎¹・山村 理恵¹・野村 泰治¹・加藤 康夫¹・松村 航² (富山県立大学, ²富山県農林水産総合技術センター)
- P30** 中海における過去 100 年間の藻類群集の変化—プランクトンデータおよび堆積物中の遺骸群集から—
廣瀬 孝太郎¹・大谷 修司²・後藤 敏一³・香月興太⁴・瀬戸 浩二¹ (島根大・汽水域セ, ²島根大・教育, ³近畿大・医学, ⁴高知大・コアセンター)
- P32** 大気降下物より単離された気中珪藻類
○溝淵 綾¹・半田 信司¹・中野 武登² (広島県環境保健協会, ²広島工大・環境)

ポスター会場 2 (2C410)

- P34** 山形県女鹿漁港及び早田漁港における藻場の海藻の種組成と現存量の季節変化
○櫻井 克聡¹・平野 央²・粕谷 和寿²・藤田 大介¹ (東京海洋大学・応用藻類, ²山形県水産試験場)
- P36** 三重県尾鷲市賀田湾の海藻植生
○倉島 彰¹・森田 晃央¹・岩尾 豊紀¹・鈴木 望海²・竹内 大介³・川崎 泰司³・前川 行幸¹ (三重大院・生物資源, ²(有) アイビングテクノ, ³尾鷲市水産農林課)
- P38** Waves and functional form influence the algal richness of the intertidal zone
○NISHIHARA, Gregory N.¹・TERADA, Ryuta² (長崎大学, ²鹿児島大学)
- P40** 海洋深層水で培養したモカサ属 1 種の生長と成熟
藤田 大介・渡辺 梨里 (東京海洋大学・応用藻類)
- P42** 館山市沖ノ島における紅藻ミリンの世代別海中育成と近年の減少について
藤田 大介・岩館 教博・小川 晃弘・井上 大輔・細矢 玲奈 (東京海洋大学・応用藻類)
- P44** Physiology of the red alga, *Gracilariopsis bailinae* Zhang et Xia, as a function of environmental factors and nutrient sources
○Rhea Joy Carton・Masahiro Notoya・Daisuke Fujita (東京海洋大・応用藻類)
- P46** 青野川に生育する 5 種の汽水性紅藻類の分布について
藤田 隆夫¹・鈴木 雅大²・吉崎 誠² (日大習志野高校, ²東邦大・理)
- P48** ホソメコンブの初期発生における栄養塩濃度と流速の関係
津田 藤典¹・秋野 秀樹²・高橋 和寛²・蔵田 護² (道立釧路水試, ²道立中央水試)
- P50** ツルアラメ養成藻体移植による藻場形成
○林 裕一¹・矢田 大輔²・染川 勝英²・能登谷 正浩³ (岡部株式会社, ²長崎県平戸市役所, ³東京海洋大・応用藻類)
- P52** フシシジメの付着器からの栄養繁殖
○林 裕一¹・藤川 義一²・能登谷 正浩³ (岡部株式会社, ²青森県水産総合研究所, ³東京海洋大・応用藻類)
- P54** 鹿児島県長島と桜島におけるヒジキの季節的消長と温度耐性
○天野 裕平¹・土屋 勇太郎¹・Gregory N. Nishihara²・寺田 竜太¹ (鹿大・水産, ²長大・環東シナ海セ)
- P56** 高知県におけるホンダワラ類の分布様式—波当りの強さとの関係について—
○田中 幸記¹・川俣 茂²・田井野 清也³・原口 展子⁴・平岡 雅規⁵ (財)黒潮生物研究所, 高知大・院, ²水産総合研究センター, ³高知県水試, ⁴高知大・院, ⁵高知大・総研セ)
- P58** ガンガゼ優占域に移植したホンダワラ類と加入した幼体の減耗要因
藤田 大介¹・尾形 梨恵¹・中田 敬子¹・高木 康次²・御宿 昭彦¹ (東京海洋大学, ²静岡県水産技術研究所伊豆分場)
- P60** 静岡県, 御前崎の緑藻相と気温・水温の長期的変動
○芹澤 如此古¹・芹澤 (松山) 和世² (山梨大・教育, ²山梨県環境研)

- P62** 広島県因島大浜町のグリーンタイド形成アオサの分類と生態
○山岸 幸正¹・垣本 健吾²・岡 勇輔¹・郷力 慶浩¹・三輪 泰彦¹ (¹福山大・生命工, ²福山大・院・工)
- P64** 湯ノ湖におけるシャジクモ類の保全を目指した分布と生態の解明
寫田 侑紀子^{1,2}・塚田 早紀¹・澤田 洋平¹・小暮 はるか¹・白岩 善博³・渡邊 信³ (¹筑波大・生物学類, ²(株) エス・エム・エス, ³筑波大・院・生命環境)

3月21日(日) 午後の部

A会場 (2B411)

B会場 (2B412)

- | | | |
|-------|--|---|
| 13:00 | A27 配列組成の極端な変化によるモデル不整合が分子系統解析に与える影響について
○石川 奏太 ¹ ・稲垣 祐司 ^{1,2} ・神川 龍馬 ¹ ・田辺 晶史 ¹ ・橋本 哲男 ^{1,2} (¹ 筑波大・院・生命環境, ² 筑波大・計算科学研究セ) | B27 Variations in the phlorotannin levels in the <i>Sargassum fusiforme</i> and <i>Sargassum thunbergii</i> (Phaeophyceae)
○Graczyk-Raczyńska Monika Zofia・田中 次郎 (東京海洋大学・院・海洋科学技術研究科) |
| 13:15 | A28 クロララクニオン藻 <i>Lotharella amoebiformis</i> のヌクレオモルフゲノムに関する比較解析
○白戸 秀 ¹ ・遠藤 寛子 ² ・中山 卓郎 ² ・平川 泰久 ² ・小池 さやか ³ ・石田 健一郎 ² (¹ 筑波大・生物学類, ² 筑波大・院・生命環境, ³ 金沢大・院・自然科学) | B28 フコキサンチンに着目したオキナワモズクの有効利用
○三瀬 武史 ¹ ・上田 満 ¹ ・須藤 裕介 ² ・安元 健 ¹ (¹ 沖科技振興セ, ² 沖水海研セ) |
| 13:30 | A29 クロララクニオン藻の核コード葉緑体タンパク質 (RubisCO small subunit) がもつ新規輸送シグナル配列の機能
○平川 泰久・石田 健一郎 (筑波大・院・生命環境) | B29 板こんにやくに入っている海藻粉, 海草粉とは何か
○鶴岡 邦雄 ¹ ・鈴木 雅大 ² ・吉崎 誠 ² (¹ 千葉県立土気高校, ² 東邦大・理) |
| 13:45 | A30 寄生性渦鞭毛藻パーキンサスのミトコンドリア遺伝子に見出されたフレームシフトを伴う遺伝子発現系
○増田 功・松崎 素道・北 潔 (東大・院医・生物医化学) | B30 メコン川流域での食用淡水藻調査 (続報)
鯨坂 哲朗 (京大・院・農) |
| 14:00 | A31 ストラメノパイル類における翻訳伸長因子遺伝子の進化
○神川 龍馬・橋本 哲男・稲垣 祐司 (筑波大・院・生命環境) | B31 鹽竈 (しおがま) 神社末社, 御竈 (おかま) 神社の藻塩焼神事
○濱田 仁 ¹ ・木村 光子 ² ・村岡 大祐 ³ (¹ 富山大・医, ² (株) I D D, ³ 水研セ東北水研) |

総合研究棟 A110

- 14:30 - 15:00 受付
- 15:00 - 17:00 公開シンポジウム 「未来を拓く藻類エネルギー」
- 15:00 - 15:30 藻類エネルギー開発の重要性と必要性
渡邊 信 (筑波大・院・生命環境)
- 15:30 - 16:00 炭化水素を産生する藻類ボトリオコッカス
○河地 正伸¹・渡邊 信² (¹国立環境研究所, ²筑波大・院・生命環境)
- 16:00 - 16:30 トリグリセリドを産生する海産珪藻類の探索
田中 剛 (東京農工大院・工)
- 16:30 - 17:00 藻類エタノール増産に向けたシンセティックバイオエンジニアリング
近藤 昭彦 (神戸大・院・工)